

山本裕之展

「境界概念」

Hiroyuki Yamamoto Portrait Concert
Boundary Concepts

音が4分音でぶつかるときに生ずる「歪み」は、ものを分かつ「境界」の内側に生ずる歪み――。約四半世紀ぶりの山本裕之作曲作品個展。

- プログラム
- 讃歌 Anthem (2022/23・映像版初演) for alto saxophone and soundtrack
 - 太平洋 L'Oceano Pacifico (2015/24・編曲版初演) version for bass clarinet & viola
 - 葉理 Lamina (2018) for guitar
 - 水平線を拡大する Expanding the Horizon (2024・初演) for flute, viola & harp
 - ダンシング・オン・ザ・スレッシュホールド Dancing on the Threshold (2024) for cello
 - 境界 Boundary (2021) for bass clarinet & alto saxophone
 - シュリーレン聴取法 Schlieren Listening (2024・初演) for flute, clarinet, bassoon, guitar, harp, violin & cello

出演



丁仁愛
flute

岩瀬龍太
clarinet



中川日出鷹
bassoon

小澤瑠衣
saxophone



高野麗音
harp

山田岳
guitar



迫田圭
violin&viola

北嶋愛季
cello



日時

2024.11.6 (wed.)
19:00 (18:30 open)

会場

杉並公会堂
小ホール

入場料
(全席自由)

前売 一般 3,000 円 学生 1,500 円
当日 一般 3,500 円 学生 2,000 円

ご予約

Peatix : <https://boundaryconcepts.peatix.com/>
e-mail : kitakaikisen.music@gmail.com
(申込者氏名・券種・枚数を明記してください)
tel. : 090-9843-8393 (北回帰線・ヤマモト)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※演奏曲目は都合により変更になる事があります。



Peatix



e-mail

2019年に、「4分音衝突」で生じるピアノの音の歪みを活用したアルバム「輪郭主義」をリリースしました。本公演ではピアノをあえて使わず、様々な楽器による「4分音衝突」を試みます。また映像作品《讃歌》は、その派生作品となります。

テーマは『境界』です。ものを分かつ役割を持つ「境界」の内側には、分けられるものの反発や混交が生じている、と考えられるとしたら——。「4分音衝突」を境界内部のメタファーと捉え、様々な『境界』の形を提示します。

——山本裕之

Players

■丁仁愛 (フルート)

演奏、作曲、編曲、録音、詩作を行う。東京藝術大学器楽卒業。現代楽造 Tokyo 団員。21世紀音楽の会、神奈川県民ホール主催「C×C」シリーズ、作曲家・川島素晴氏主催 WORKS シリーズ、佐藤紀雄プロデュース公園通りシリーズ、自主公演 Ensemble Triptych シリーズ、東京藝術大学主催「Tokyo Independent」絵画出版、高尾 599 ミュージアム上映作品の楽曲制作等。Twitter(X): @inaecantabile

■岩瀬龍太 (クラリネット)

桐朋学園大学音楽学部卒業。ベルギーのアントワープ王立音楽院とモンス王立音楽院に学ぶ。ウィーンにて現代音楽アンサンブル・Ensemble Platypusのクラリネット奏者として、数々のプロジェクトに関わる。ウィーンモダン現代音楽祭をはじめ、世界各地の音楽祭に招聘される。2015年の帰国後も、現代の作曲家による作品を多数初演するなど、現代音楽のスペシャリストとして活発に活動している。第11回ピエトロ・アルジェント国際音楽コンクール室内楽部門第1位(イタリア)をはじめ、数々の国際コンクールに入賞。

■中川日出彦 (バスーン)

日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者、Ensemble FOVE、ルツェルン音楽祭アンサンブルメンバー。東京音楽大学非常勤講師。京都市立芸術大学卒業。パリ地方音楽院、フランクフルト音楽大学大学院及びドイツ、アンサンブルモダンアカデミー修了。京都市芸術文化特別奨励賞受賞。明治安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生。

■小澤理衣 (サクソフォン)

洗足学園音楽大学成績最優秀賞、セルジーポントワーズ地方音楽院、パリ国立高等音楽院サクソフォン科、室内楽科第二課程首席卒業。新曲・現代音楽専科第三課程修了。日本管打楽器コンクール第2位、国際アドルフサクソコンクールにて女性史上最高位となる第2位を受賞の他、様々な国際コンクールで入賞。ソリストとしてオーケストラや吹奏楽団と共演し、国内外でマスタークラスやコンサートなどを行う。Parero Saxophone Quartet、Ensemble Fila Alba、Ensemble Otto Vociメンバーとして国内外にて活動。これまでにサクソフォンを宗貞啓二、ジャン・イヴ・フルモン、クロード・ドゥラングル、室内楽を池上政人、ダヴィッド・ウォルターの各氏に師事。



《讃歌》(2023・映像作品) 出演：加藤和也 (saxophone)

■加藤和也 (サクソフォン)

デンマーク政府奨学金を授与され渡欧し、デンマーク王立ユラン音楽院大学院ソリストクラス修了。サクソフォンの為の新しい作品の委嘱・演奏、ポップス、アルゼンチンタンゴ、ダンス、曲芸師など様々なジャンルのアーティストとの活動、美術館やギャラリーでの演奏会の企画、楽曲制作、音を扱った作品を制作するなど活動は多岐にわたる。広島市立大学、エリザベト音楽大学付属音楽院非常勤講師。http://kazuya-saxo.wixsite.com/kazuya

■高野麗音 (ハープ)

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部を経て2010年パリ国立高等音楽院修士課程を首席で修了。2006年以降4年間ローマミュージックファンデーションの奨学金を得る。ソリストとしての活動をはじめ、室内楽やオーケストラ、新曲の発表などに積極的に参加。これまでに景山真菜、木村茉莉、渡邊萬里、イザベル・モレッティの各氏に師事。広島交響楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団と共演。現在、東京藝術大学音楽学部、札幌大谷大学非常勤講師。

■山田岳 (ギター)

中学生のときジミ・ヘンドリクスに憧れエレキギターを始める。その後ブルースやヘヴィメタル、プログレ、クラシック、古楽、実験音楽、ノイズなどに傾倒。近年の活動領域はギターほか声や自作楽器を用いたパフォーマンス、バンド活動、演劇、ダンス、インスタレーション制作など多岐にわたる。レコード・レーベル「blue tree」主宰。第20回朝日現代音楽賞、第75回文化庁芸術祭優秀賞(レコード部門)、第76回文化庁芸術祭大賞(音楽部門)、第21回サントリー芸術財団佐治敏三賞を受賞。

■泊田圭 (ヴァイオリン、ヴィオラ)

東京音楽大学卒業。東京音楽大学大学院に給費奨学金を得て入学。修了。東京音楽大学コンクール入賞。第28回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。プロジェクトQ第10章に参加。現在、おーけすとら・びとれ座にてコンサートマスターを務めている他、オーケストラトリプティック、Malus Quintet、Green Room Playersにヴァイオリン、ヴィオラ奏者として在籍している。また、明田・大熊バイオリン教室、WE LOVE MUSICにて講師を務める。

■北嶋愛季 (チェロ)

チェリスト・保育士・パフォーマンスコーチ。2013/14 アンサンブル・モダン・アカデミー生。フランクフルト音楽大学古楽器科修了。現在、放送大学教養学部(心理と教育コース)在籍。2018年よりバロックとモダン2台のチェロによる独奏演奏会を東京、フランクフルト、ミュンヘンで定期的に開催。国内外の現代音楽祭や演奏会に出演し、同世代作曲家の初演にも多く携わる。即興デュオOKA-ARUKI、近現代の室内楽曲を探求・発表する「みのでり」、親子向けワークショップと演奏会を行うcielメンバー。www.akkitaiaim.com

Composer



■山本裕之 (作曲家)

1967年山形市生まれ。主に神奈川県で育つ。1992年東京藝術大学大学院作曲専攻修了。これまでに第58回日本音楽コンクール第3位(1989)、第13回観音作曲新人賞(1996)、BMW musica viva作曲賞第3位(ドイツ/1998)、武蔵野作曲賞第1位(2002)、第13回芥川作曲賞(2003)を受賞。またフォーラム91(カナダ/1991)、カウデアムス国際音楽週間'94(オランダ/1994)、ISCM世界音楽の日々(ルクセンブルク/2000、横浜/2001)など、様々な音楽祭に入選している。作品は Le Nouvel Ensemble Moderne、Ensemble Contemporain de Montréal(以上モントリオール)、Nieuw Ensemble、Calefax Reed Quintet(以上アムステルダム)、NZ Trio(オーストラリア)、バイエルン放送交響楽団(ミュンヘン)、ルクセンブルク管弦楽団、カイロ交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、東京混声合唱団、スーパーウィズ、ヴォクスマーナなど、各地の演奏団体等により演奏され、またラジオで放送されている。演奏家や演奏団体、放送局等からの委嘱を受けて作曲を行っている傍ら、1990年より作曲家集団(TEMPUS NOVUM)に参加。2002年よりピアニスト中村和枝氏とのユニット活動(claviarea)を行うなど、コンサートの企画などを含む様々な活動を展開している。2002年第51回神奈川文化賞未来賞受賞。NPO Gioவில்理事、Ensemble Contemporary α(東京)、音楽クラウゼ(名古屋)各メンバー。現在、愛知県立芸術大学教授、東京藝術大学およびお茶の水女子大学非常勤講師。作品は BabelScores(パリ)、風の音ミュージックパブリッシング(埼玉)、ネクス音楽出版(浜松)、ソニックアーツ(東京)等から出版されている。



お問合せ：● 北回歸線
e-mail kitakaikisen.music@gmail.com
tel 090-9843-8393

錯覚でピアノの音の方がずれて聴こえる!? 四分音による「歪み」の効果を最大限に活かした作品群!



[CD] 山本裕之作品集 輪郭主義

- 輪郭主義Ⅰ チューバとピアノのための
- 輪郭主義Ⅱ 事前録音されたヴィブラフォンとピアノのための
- 輪郭主義・ミニ ヴァイオリンとピアノのための
- 輪郭主義Ⅲ トロンボーンとピアノのための
- 輪郭主義Ⅳ フルート、ヴァイオリンとピアノのための
- 輪郭主義Ⅴ フルートとピアノのための
- 輪郭主義Ⅵ ピアノトリオのための
- 輪郭主義Ⅶ クラリネット、バス・クラリネットとピアノのための

【演奏者】

藤田朗子(ピアノ) 中村和枝(ピアノ) 及川夕美(ピアノ) 内本久美(ピアノ) 橋本晋哉(チューバ) 加藤和也(ヴィブラフォン) 村田厚生(トロンボーン) 佐藤まどか(ヴァイオリン) 多久潤一朗(フルート) ジョヴァンニ・マレヅジニ(フルート) 松本卓以(チェロ) 原田綾子(クラリネット) 鈴木生子(バス・クラリネット)

ALCD-121 税込価格¥3,080 (税抜価格¥2,800)